



## ご挨拶

本日は、「A-Winds40」2013年 夏の演奏会 ～A-Winds40回記念演奏会～にお越し下さり、誠に有難うございます。

「こころ豊かな文化の香り高き町 大和郡山市」のお城の麓「やまと郡山城ホール」で皆様方と、こうしてお逢いすることができましたことに、A-Winds一同、心より感謝申し上げます。

1999年10月「アンサンブル」という少人数の音楽スタイルの延長上に位置付け大人数編成の「ウィンドオーケストラ」と称し、遷都1300年の歴史を誇る奈良の都に発足しました。

同年の秋に初の舞台「デビュー演奏会」を開催、以後四季折々に開催するA-Windsの定期演奏会も、第40回記念を迎えることができました。これもひとえに、我々A-Windsの活動、そして音楽をこよなく愛して下さった皆様方の御指導、御支援の賜物と、心より御礼申し上げます。

今回の記念演奏会では、新進気鋭の作曲家の前田恵実先生に作曲委嘱をお願いし、この大和郡山の地で音楽活動させていただいた集大成として我々A-Windsの為に「SUKU SUKU」を作曲していただきました。本日この作品に井村誠貴氏の渾身のタクトに、A-Windsのこれから先の未来に向けた熱き思いを乗せて、披露させていただきます。

## いにしえと 未来をつなぐ 音知る辺

今後とも、温かい御指導御支援の程、宜しく申し上げます。

A-Winds奈良アマチュアウィンドオーケストラ 団長 魚谷 昌克

\*

本日は、「A-Winds40」2013年 夏の演奏会へお越しいただきありがとうございます。40回目の記念すべき演奏会を迎えることができ、団員一同嬉しく思っております。

第1部は、懐かしい吹奏楽曲を中心に緩急おりましたプログラムをお届けいたします。

第2部では、客演指揮者に井村誠貴氏をお招きして、ダイナミックな演奏をお届けいたします。大和郡山市の名産である金魚をテーマとした委嘱作品「SUKU-SUKU」も楽しんでいただければと思います。

団員一同心を込めて演奏いたしますので、どうぞ最後までごゆっくりお楽しみください。

最後に、本公演開催にあたり関係各方面よりご支援賜りました事を、演奏会実行委員を代表して心より御礼申し上げます。

「A-Winds40」2013年 夏の演奏会 実行委員長 田中由美・谷田弥生



## ご案内

### 「A-Winds43」2013年 秋の演奏会

2013年10月27日(日) 14:00開演 いかるがホール 大ホール

「A-Winds43」2013年 秋の演奏会では、有名なミュージカルの楽曲のメドレーである、「レ・ミゼラブル セレクション」や、楽器紹介のための楽曲「はとポップの世界旅行！」など、吹奏楽曲にあまり詳しくない方でも十分お楽しみいただけるプログラムとなっております。皆様のご来場を心よりお待ちしております。

「A-Winds43」2013年 秋の演奏会 実行委員長 浦野佳美・米田彩乃



## A-Winds奈良アマチュアウィンドオーケストラ

### Flute & Piccolo

佐藤 由加里  
佐藤 司  
魚谷 陽子  
大西 このみ

### Oboe

桶谷 牧子  
初岡 文子 ☆

### E♭ & B♭ Clarinet

長尾 恭子  
竹村 明恵  
森本 幸恵  
日野上 昌里佳 (休団)  
近藤 晴美  
鶴田 祐貴  
米田 彩乃  
上野 彩香  
岩井 京 ☆

### Alto Clarinet

大西 晴己

### Bass Clarinet

辻田 綾子

### Bassoon

満江 孝文  
萱原 美華子

### Alto Saxophone

島田 博一  
松井 加奈 ☆

### Tenor Saxophone

初岡 和樹

### Baritone Saxophone

八木 理

### Horn

久野 耕三  
大田 雅美  
佐伯 直人  
村上 和代 ☆

### Trumpet

魚谷 昌克  
表 恭子  
竹腰 綾香  
井上 寛治  
谷田 弥生  
鎌田 麻友  
山本 洋介

### Trombone

萱原 淳嘉  
小泉 文浩  
進藤 梓  
田中 山美

### Euphonium

藤村 晃世  
尾登 勇介  
池内 砂織

### Tuba

岸本 和  
鈴木 克美 ☆

### Contra Bass

佐藤 良一

### Percussion

森田 晶  
谷口 麻子  
久保 寛美  
川本 理恵  
松嶋 春香  
浦野 佳美  
梶本 雅子

### Piano

八木 真木

### Stage Manager

伊藤 耕平 ☆

### Announce

境 貴子 ☆

団員合計 47名

エキストラさん7名

☆=エキストラ

### 「A-Winds40」2013年 夏の演奏会 実行委員

*実行委員長	田中 山美	* 谷田 弥生
*宣 伝 (チラシ)	大田 雅美	* 八木 真木
*宣 伝 (ミニレター)	近藤 晴美	
*宣 伝 (web)	進藤 梓	
*宣 伝 (マスコミ)	森本 幸恵	* 竹腰 綾香
*プログラムノート	池内 砂織	
*渉 外	谷田 弥生	
*印 刷	佐藤 司	
*宴 会	佐藤 由加里	



2013年6月23日(日) 13:30開場 / 14:00開演  
やまと郡山城ホール 大ホール

主催 ● A-Winds奈良アマチュアウィンドオーケストラ  
後援 ● 奈良県・大和郡山市・大和郡山市教育委員会・奈良県吹奏楽連盟



## プログラム & プログラムノート

### ◆第1部

団員指揮者：魚谷昌克

### ジュビリー序曲/Jubilee Overture

作曲：フィリップ・スパーク／Philip Sparke  
出版：Studio Music

P.スパークの名を一躍有名にしたこの曲は、1983年にイングランドの名門、GUSバンドの依頼により、同ブラスバンドの創立50周年記念に作曲されました。曲は3部形式で構成されており、金管楽器のファンファーレと木管楽器のコラル風の旋律のかけ合いから始まります。続いて、軽快でリズムミカルな主題が疾走する主部、後半には冒頭の旋律、ファンファーレが再び現れ、終始華やかな作品となっているので、演奏会のオープニングにピッタリではないでしょうか。今日は、作曲家自身により編曲された吹奏楽版により演奏致します。

### 風紋/Fû-Mon

作曲：保科洋／HOSHINA Hiroshi  
出版：All Japan Band Association

吹奏楽ファンなら一度は聴いたことがあるだろうこの曲は、1987年度全日本吹奏楽コンクールの課題曲として作曲されました。数ある吹奏楽コンクール課題曲の中でも、「風紋」は現在も根強い人気を誇っています。演奏時間が5分を超える当時としては長い課題曲でしたが、作曲者は「削りに削った」といっており、後年には当初の構想通りの作品が原典版として出版されることになりました。作曲家によると、曲名の「風紋」には特に意味はなく、強いて言えば前半部分や速い部分のフォルテやピアノの対比の主観的イメージのようです。全体的に美しい哀愁をおびた旋律が流れ、ダイナミックな場面もあるが叙情的な部分が多くなっています。

### ロマネスク/ROMANESQUE

作曲：ジェイムズ・スウェアリンゲン／James Swearingen  
出版：Birch Island Music Press

この曲は、1982年にオハイオ州プリントンにある中学校コンサートバンドの委嘱により作曲されました。美しいメロディーが特徴的なコラルであり、曲は穏やかに進んでいきます。一見取り組みやすいかのように感じますが、シンプルな譜面である分、奏者の表現力が問われる作品となっています。

### セント・アンソニー・ヴァリエーション/St.Anthony Variations

作曲：ウィリアム・H・ヒル／William H. Hill  
出版：Music Eight

この変奏曲の主題となっているのは、17世紀の有名な聖歌である「セント・アンソニー」です。ハイドンやブラームスもこの「セント・アンソニー」を主題とした作品を発表していますが、ヒルのこの変奏曲は、まず力強い序奏により開始され、その後、木管楽器が「セント・アンソニー」の主題を提示します。変奏曲は4部で構成されており、第1変奏では力強くリズムミカル、第2変奏は美しいメロディーが流れ、第3変奏は舞曲風なフーガです。そして最後の第4変奏は、打楽器を中心とした印象的で華やかな終章となっています。1979年にカリフォルニア州モデストのトーマス・ダウニー高校バンドの委嘱により作曲され、その後、世界各国、様々な楽団で演奏され続けています。

### ◆第2部

客演指揮者：井村誠貴

### ウィークエンド・イン・ニューヨーク/A WEEKEND IN NEW YORK

作曲：フィリップ・スパーク／Philip Sparke  
出版：Anglo Music Press

1部の「ジュビリー序曲」の作曲家でもあるP・スパークが、初めて行ったニューヨークで過ごした週末の印象を綴った曲です。ニューヨークの街で出会ったジャズの要素を取り入れた曲となっていて、作曲者が出会う様々な情景が描かれています。曲は、ニューヨークの喧騒の中で始まり、讃美歌のような部分やアルトサクソフォンのスウィングーなソロなど様々な素材が投入されています。最後は喧騒を回顧するかのように冒頭の部分をめぐるしく再現し、なだれこむように一気に終わります。

### エンターテインメント・マーチ/That's Entertainment March!

作曲：川北栄樹／KAWAKITA Hideki  
出版：All Japan Band Association

2013年度全日本吹奏楽コンクール課題曲のうちの一曲です。歩くには速すぎるので、「行進用行進曲（マーチング・マーチ）」ではない、曲の軽さから「演奏会用行進曲（コンサート・マーチ）」でもないということで、「娯楽用行進曲（エンターテインメント・マーチ）」となったようです。タイトルからポップスマーチをイメージするかもしれませんが、スタンダードなマーチです。4/4拍子で進む曲の中で、2/4拍子を交えて拍感が変わることが面白さの一つとなっています。冒頭のメロディーがトリオを経て、後半でも再現されています。全体を通して、明るく親しみやすいマーチです。

### SUKU-SUKU “A-Winds40” 2013年 夏の演奏会 委嘱作品

作曲：前田恵実／MAEDA Emi  
出版：未出版

本日の第40回目の記念演奏会のために、作曲家、前田恵実氏に書き下ろして頂いた委嘱作品です。A-Windsの活動拠点である大和郡山市のシンボル、「金魚」を題材としており、一曲を通して1つの物語となっています。曲名の「SUKU-SUKU」とは、掬われて、救われてスクスク、「何が辛いのか分からない」という意味が込められています。物語の主人公は金魚の男の子「ヤマト」。彼が様々なトラブルに遭遇し、その中で恋に落ちていく様子を特殊な奏法や、美しい旋律で表現しています。下記に記載しています物語を読んで、ここはどの場面かと想像しながらお聴きになると、より一層お楽しみ頂けるかと思ます。

ある養殖所で育てられた金魚ヤマト。ある日突然、ボイを持った子供たちに追いかけて回される。仲間が次々と捕まっていく中、ヤマトもついに持ち帰られてしまう。エライことになってしまったと嘆くも、連れて帰られた先では優しい光が差し込む金魚鉢に入れられた。そしてそこには、先住美魚：キクがいた。直ぐに恋に落ちた2匹は幸せに甘い日々を過ごす。「良いところに来られて良かった」と喜んだのも束の間、何か部屋で揺れる物体が金魚鉢に映し出される。しっぽを揺らしながらキラリと光る目で見つめてくるのは飼猫クロマツ。彼の容赦ない攻撃に怯えることになる。そしてとうとう、勢い余ったクロマツは金魚鉢を落としてしまい、2匹は床に放り出されてしまった。やっとヤマトが意識を戻した時には、何も見えない暗闇の中。一体どうなってしまうのか、キクは無事なのか、絶望の中で過ごす。しかし、蓋が開き光と共に見えてきたのは、最新設備の備わった頑丈な水槽だった。ヤマトとキクは何不自由なく平和に暮らし、産まれてきた子供たちもスクスク元気に育っていった。



## プロフィール



井村誠貴

オペラ指揮者。1994年大阪音楽大学コントラバス科卒業。在学中よりオペラ指揮者として各地で研鑽を積み、これまでに菊池彦典氏をはじめ、多くの日本を代表する指揮者のもとでアシスタント・コンダクターとして多くの公演に携わり高い評価を得ている。オペラレパートリーも50演目を越え、主要作品の他にも、オペレッタや邦人作品の初演にも力を注いでいる。中でも喜歌劇楽友協会におけるJ.シュトラウス「ウィーン気質」の邦人初演は注目を集め、高い評価を得ている。2001年には年間オペラ公演回数で日本人では第4位に入るなどオペラ指揮者としての地位を確立。また同年イタリアに留学。現地ではAs. Li. Coの北イタリア・オペラ公演ツアーに同行し、副指揮者として高い評価を得た。管弦楽では、京都フィルハーモニー室内合奏団を中心にコンサートを定期的に

行う一方、名古屋フィルハーモニー交響楽団、京都市交響楽団、関西フィルハーモニー管弦楽団、大阪交響楽団、オペラハウス管弦楽団等を客演。また岐阜県交響楽団、大阪市民管弦楽団、京都府立医科大学交響楽団、神戸大学交響楽団、大阪市立大学交響楽団等との定期演奏会を客演指揮するなど、アマチュアオーケストラの分野においても貴重な存在となっている。さらに大阪市音楽団、ナゴヤディレクターズバンド等の吹奏楽団との関係も深く、その分野でも注目を集めている。近年はミュージカルにも活動の場を広げ、1999年の「ラ・カージュー・オ・フォル」を皮切りに、「マイ・フェアレディ」、「レミゼラブル」、「ペテン師と詐欺師」、「The Musical AIDA」、「キャバレー」のロングラン公演を成功させライブCD及びDVDを発売。また、岩崎宏美や、尾崎紀世彦、佐々木秀実らの実力派シンガーとの共演も多く、コンサートでの軽妙なトークも話題となっている。その活動の幅は指揮活動だけにとまらず、オペラ演出、企画構成、さらには編曲者としての活動も著しく、マルチな才能を發揮。クラシック音楽にとらわれない幅広いジャンル、年間200公演近くに及ぶ実績と、繊細且つダイナミックな指揮は、多くのファンを魅了し続けている。指揮を、湯浅勇治氏をはじめ、松尾葉子、広上淳一、辻井清幸の各氏に師事。現在、オーケストラMFT指揮者。



前田恵実

神戸山手女子高等学校音楽科ピアノ専攻を経て、大阪音楽大学 作曲学科卒業。これまでにピアノをロバート・マクドナルド、岡原慎也、賀集律子、芹澤佳司、作曲を岡田正昭、田島直、川島素晴、アラン・ゴースン、エディス・カナドジの各氏に師事。日本音楽コンクール第3位(07)、日本交響楽振興財団作曲賞(08)、武生作曲賞(09)、JFC作曲賞(10)などで入選入賞。2011-12年、ロームミュージックファンデーションの在外研究生としてパリで活動。これまでに大阪音楽大学定期演奏会で委嘱作品が演奏された他、作編曲作品が東京フィルハーモニー交響楽団、日本フィルハーモニー交響楽団、関西フィルハーモニー管弦楽団、京都フィルハーモニー室内合奏団等に演奏されている。またティータ出版より作編曲作品が多数出版されている。現在、神戸山手女子高等学校音楽科勤務。また国内外で、現代音楽から吹奏楽、ポップスとあらゆるジャンルのイベント用音楽を手がける作編曲家として活動中。日仏現代音楽協会会員。



## A-Winds メンバー募集

### ●募集パート

- ・ Oboe\*
- ・ Bassoon
- ・ Baritone Saxophone
- ・ Trombone
- ・ Percussion
- ・ Stage Manager
- ・ Contra Bass……………各1名
- ・ BbClarinet
- ・ Tuba……………各2名
- ・ Horn……………3名

\*イングリッシュホルンもお持ちの方、大歓迎です！もちろんオーボエのみでご希望の方も、お待ちしております。まずはご相談ください！

### ●A-Windsの活動趣旨（ウィンドアンサンブル&オリジナル重視）に賛同頂ける方

- ご自分で楽器を準備できる方
- 全ての活動に賛同頂ける方
- 18歳以上の方
- 詳細はお問い合わせ下さい。

問い合わせ先は<e-mail>a-winds@amber.plala.or.jp